

市町村体力向上アクションプラン(令和7年度版)

教委名		日田市 教育委員会			
作成者	職	指導主事			
	所属	学校教育課	TEL	0973-22-8326	

1 体力の状況

ア 令和6年度体力・運動能力等調査結果(県調査)

・小学生

R6年度の測定平均値がR5年度全国平均値を上回った項目数
日田市45/96項目[男子21項目・女子24項目]
※R5年度53/96項目[男子24項目・女子29項目]
日田市平均値が全国平均値を上回った項目数は、R5年度から9項目減った。

・中学生

R6年度の測定平均値がR5年度全国平均値を上回った項目数
日田市3/48項目[男子0項目・女子3項目]
※R5年度5/48項目[男子3項目・女子2項目]
日田市平均値が全国平均値を上回った項目数は、R5年度から2項目減った。

イ 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

○総合評価C以上の児童生徒の割合

《小学5年生》男子日田市72.1%(県76.5%全国64.1%)、女子日田市78.5%(県80.5%全国69.2%)
《中学2年生》男子日田市73.3%(県78.8%全国69.1%)、女子日田市78.2%(県83.8%全国80.8%)
※R6年度は小学5年生男女と中学2年生男子で全国平均値を上回ったが、中学2年生女子で全国平均値を下回った。

○生徒・学校質問紙調査結果

*運動やスポーツをすることが好き・やや好きの割合

小5 男子 92.7%(全国93.2%) 女子 85.5%(全国86.2%)
中2 男子 91.5%(全国90.6%) 女子 87.0%(全国76.9%)

*1週間の総運動時間が1時間未満の割合(体育の授業以外)

小5 男子 12.2%(全国9.2%) 女子 15.4%(全国16.0%)
中2 男子 6.9%(全国9.2%) 女子 17.3%(全国21.4%)

ウ 当該市町村の児童生徒の特徴的な様子

○「ほとんど毎日運動している」「1日1時間以上運動している」の割合は、中学校男女において県の割合を上回った。

○「テレビ等の視聴が1日3時間以上」の割合は、小学校男女では県の割合よりも低く、中学校男女では県の割合よりも高かった。

○運動に関する愛好度は、低下傾向にある。

2 令和6年度の取組の検証

令和6年度の指標	達成状況・成果等
達成指標 ○全国平均値を上回る項目数の割合 小学校 (男子54% ・ 女子62%) 中学校 (男子25% ・ 女子20%) ○総合評価C以上の児童・生徒の割合 小学校 (男子75% ・ 女子79%) 中学校 (男子70% ・ 女子84%) ○運動することが好きな児童・生徒の割合 小学校 (男子77% ・ 女子57%) 中学校 (男子68% ・ 女子48%)	○全国平均値を上回る項目数の割合 小学校 (男子43.7% ・ 女子50.0%) 中学校 (男子 0% ・ 女子12.5%) ○総合評価C以上の児童・生徒の割合 小学校 (男子71.6% ・ 女子75.0%) 中学校 (男子67.4% ・ 女子83.4%) ○運動することが好きな児童・生徒の割合 小学校 (男子74.2% ・ 女子62.4%) 中学校 (男子69.4% ・ 女子46.5%)
取組指標1 ○調査に基づく市と自校の課題を解決するための効果的な「1校1実践」に取り組む学校の割合が100% 【市の課題】小中学校ともに「50m走」	○市教委検証アンケートにおいて、すべての小中学校において「1校1実践」に取り組んだ。 (達成率100%)
取組指標2 ○児童会や生徒会主体の体育的活動を学期に1回以上取り組む学校の割合が100%	○すべての小中学校において、市統一指標として「体力向上プラン」に位置づけ授業実践の工夫・改善に取り組んだ。

【総括】

○全国平均値を上回る項目数の割合については、指標を達成することができなかった。令和5年度調査における日田市の割合と比較すると、中学校女子の割合は増加した。

○総合評価C以上の児童・生徒の割合については、指標を達成することができなかった。令和5年度調査における日田市の割合と比較すると、小中男女ともに減少した。

○運動することが好きな児童・生徒の割合については、小学校女子・中学校男子において指標を達成した。令和5年度調査における日田市の割合と比較すると、小学校男女において増加した。

○市教委検証アンケートにより、すべての小中学校における「1校1実践」の組織的な取り組みについて確認した。

○体力向上プランに市統一指標を位置付けることで、すべての小中学校において授業実践の工夫・改善に取り組むことができた。

3 令和6年度の取組状況

ア 児童生徒の体力向上に係る市町村教育委員会や学校の行動

① 教育委員会

- ・ 体力・運動能力等調査の結果を分析し、市全体の課題や改善策、市内統一した重点項目を校長会・体育主任会議等で提示した。
- ・ 体育主任会議を2回実施した。
- ・ 各学校の体力向上にかかる課題の把握と、「1校1実践」の取組に対する指導・助言(提出時、学校訪問時)を行った。
- ・ R6年度体力・運動能力等調査結果による市の実態検証と各学校の検証を行った。

② 各学校

- ・ バランスよく運動能力を育成するために、R6年度体力・運動能力等調査結果に基づいて、市や自校の課題を解決するための効果的な「1校1実践」の実施及び検証を行った。
- ・ 運動に興味・関心を引き出すための工夫をするともに、校内の体育環境の整備を行い、運動の「時間」「空間」「仲間(集団)」の創出を行った。
- ・ 全学校共有フォルダにおいて体力向上プラン(1校1実践)を共有し、各学校での取組充実を図った。
- ・ 児童・生徒の学ぶ意欲が高まる魅力ある授業を実践するとともに、児童会や生徒会が主体となる日常活動や全校・学年レクリエーション等体育的活動を実施し、運動の愛好度を高めるための取組を充実させた。
- ・ 中学校において、部活動の目標設定や合同練習など、活動意欲向上を図り、活性化させた。
- ・ 体力測定の結果等から、個人の目標を設定する取組を行った。

イ 体力向上に関して抱える組織的な課題を解決するための市町村教育委員会や学校の行動

① 教育委員会

- ・ 体育専科教員の実践事例や指導法の充実を全市的に広げ、教員の指導力向上と体育環境の充実につなげた。
- ・ 研究指定校(体育専科教員活用校・体力向上推進校)の実践例や研究成果を全学校共有フォルダ上に提示し、周知を図った。
- ・ 各学校への栄養教諭の活用依頼と派遣による食育の充実を図り、朝食をとることや好き嫌いをなくすことを指導するなど児童生徒の生活習慣の改善を促進した。

② 各学校

- ・ 校内にてミドルリーダー的存在を体育主任に充て、体力向上プランに基づいた組織的な体制づくりと校内研修の充実に向けて取り組んだ。
- ・ 管理職のもと、教務主任や体育主任、部活動主任が中心となり、体力向上推進委員会を組織し、体力向上プランにおける自校の「1校1実践」の取組について検証・改善を行った。
- ・ 生活習慣の定着促進と食育の充実に向けて、栄養教諭を活用した食育授業を実施した。
- ・ 育友会やPTAと連携した生活習慣改善の取組を行った。

4 課題(令和7年度に向けて)

1. 体力の状況について

- ・ 県調査において市平均値が全国平均値を上回った項目数は、令和元年度以降小中男女ともに減少傾向となっている。
- ・ 小学校について、日田市平均値がR5年度全国平均値を上回った項目数は、前回と比べ男子が3項目、女子は5項目減少した。項目別では、「握力」「上体起こし」「ボール投げ」が良好、「50m走」「立ち幅とび」「反復横とび」に課題がみられる。
- ・ 中学校について、日田市平均値がR5年度全国平均値を上回った項目数は、前回と比べ男子が3項目減少し、女子が1項目増加した。また、48項目中全国平均値を上回ったのは女子の3項目だった。項目別では「反復横とび」が良好、「握力」「上体起こし」「50m走」「ボール投げ」に課題がみられる。令和5年度日田市平均値と比べて、「握力」に改善がみられる。
- ・ 「50m走」については、日田市平均値がR5年度全国平均値をすべての学年で下回り課題が残ったものの、日田市の平均がR5に比べR6では8／18学年において上回っており、改善が見られる。前年度に引き続き「走」運動を意識した授業実践を推進する必要がある。
- ・ 総合評価C以上の割合は、小学校において男子3／6、女子2／6、中学校において女子1／3の学年が全国平均を上回り、その学年は小1・小3・小5男子及び小3・小4女子、中3女子である。一方、中学校男子においては全国の割合を上回った学年はなかった。

2. 令和6年度の取組について

- ・ 県調査における「運動することが好き」の割合は、小学校女子と中学校男子において県平均値を上回ったが、令和5年度調査では小中学校男女のすべてにおいて県平均値を上回っていたことから、運動に対する愛好度が低下傾向にある。「分かる・できる・楽しい」を実感する体育授業の改善に加え、運動の苦手な児童生徒も楽しみながら自主的に取り組めるよう、ゲーム性や継続性を重視した実践の工夫が引き続きの課題である。
- ・ 小学校においては、体育専科教員の事業を効果的に活用できており、訪問連携校においては、体育の授業改善や児童が主体的に体育的活動に取り組む実践が推進された。更に本事業を継承・発展させることで市全体の向上を図りたいと考える。
- ・ 中学校においては、市平均値が全国平均値を上回った項目数は減少したものの、前年度比較では数値が向上した項目が多いことを踏まえ、体力向上に自主的主体的に取り組むための指導の工夫を推進する。
- ・ 体力向上プラン「1校1実践」については、学校ごとに組織的に実践・検証することができている。引き続き、上記課題解決のため、自校の課題把握を踏まえた体力向上プラン「1校1実践」の作成・実践・検証を推進する。
- ・ 生活習慣アンケートでは「朝食を毎朝食べる」「食事は、好ききらいをせず、残さず食べていますか」の割合は県平均値を下回った。栄養教諭派遣を含む食育の充実や、家庭や保護者の協力を得ながら生活習慣の改善を図る取り組みが必要である。

5 令和7年度の目標及び指標

【目標】

- 全国平均値を上回る項目数の割合を高める。
- 日田市の課題である「50m走」について、全国平均値を上回る学年の割合を高める。
- 総合評価C以上の児童・生徒の割合を高める。
- 「運動が好き」な児童・生徒の割合を高める。

達成指標	取組指標
令和7年度県調査において ○ 全国平均値を上回る項目数の割合 小学校 (男子50% ・ 女子50%) 中学校 (男子20% ・ 女子20%) ○ 「50m走」の全国平均値を上回る学年の割合 小学校 (男子30% ・ 女子30%) 中学校 (男子30% ・ 女子30%) ○ 総合評価C以上の児童・生徒の割合 小学校 (男子73% ・ 女子76%) 中学校 (男子70% ・ 女子85%) ○ 運動することが好きな児童・生徒の割合 小学校 (男子75% ・ 女子62%) 中学校 (男子70% ・ 女子48%)	○ 市と自校の課題を解決するための効果的な「1校1実践」の取り組みについて、学期に1回以上検証する ○ 「50m走」のタイムを年間2回調査する(全国・県調査を含む) ○ 運動のコツをつかませるための授業実践について、学期に1回以上共有・協議する ○ 児童生徒が個人の状況に合わせた1人1人の目標を設定した体育的活動を年間2回以上取り組む

6

令和7年度の行動計画

ア

児童生徒の体力向上に係る市町村教育委員会や学校の行動

①

教育委員会

○市全体の課題や改善策、市内統一した重点項目の設定

・体力運動能力等調査の結果を分析し、校長会、体育主任会議で提示

○教職員の意識改革や指導力向上の促進

・体育主任会議の実施(2回)

・体育推進教員の積極的な活用推進

○各学校の体力向上に係る課題の把握と「1校1実践」の取組に対する指導・助言(提出時、視察時)及び検証促進

・取組指標の4項目についての取組状況を市教委アンケートにより学期ごとに把握

②

各学校

○バランスの取れた運動能力の育成

・市及び自校の課題解決を図るための市のアクションプランと連動させた効果的な「1校1実践」の実施

・校内の体育環境の整備による運動の「時間」「空間」「仲間(集団)」の創出

・体力向上プランを全学校共有フォルダにおいて共有

○児童・生徒が主体的に取り組む愛好度の高まる授業づくり・体育的活動の設定

・運動のコツをつかませるための「分かる」「できる」「楽しい」を実感できる授業づくり

・「日常的・繰り返し」「短時間」「ゲーム性」をキーワードとした体育的活動の実施

・児童会や生徒会が主体となる全校・学年レクリエーション、同年齢・異年齢集団での体育的活動の実施

・1人1台端末やICTの活用を通した体育的活動の工夫

○個に応じた目標の設定

・体力測定の結果等から、個人の目標や目標達成のための取組を設定

イ

体力向上に関して抱える組織的な課題を解決するための市町村教育委員会や学校の行動

①

教育委員会

○体育専科教員の活用方法の工夫

・体育専科教員について、実践事例や指導法の充実を全市的に広げ研究指定校(体育専科教員活用校・体力向上推進校)の実践例や研究成果を全学校共有フォルダ上に提示・周知

・研究指定校(体育専科教員活用校)の公開授業の実施による指導力向上

・体育主任会議において体育専科教員・体育推進教員から体力調査に向けた効果的な指導方法の提示

・指導主事による連携校への巡回指導

○健康的な生活習慣の定着促進

・各学校への栄養教諭の活用依頼と派遣(日程調整)による食育の充実

②

各学校

○校内研修の充実

・経験年数の浅い教員を積極的に体育主任に充て、人材育成を図る校内体制づくり

・体育主任会や体育部会における研修内容の所属校での還流

○「1校1実践」の組織的な取組

・管理職のもと、教務主任や体育主任、部活動主任が中心となり、体力向上推進委員会を組織し、市の課題や自校の課題を解決するための効果的な「1校1実践」の作成

・校内体力向上研修会の実施による「1校1実践」の取組内容の共通理解

・学期ごとの検証と次学期への推進

○健康的な生活習慣の定着促進

・栄養教諭を活用した食育授業の実施

・育友会と連携した生活習慣の改善の取組

7

令和7年度の人的支援の希望内容

①

体育専科教員の配置希望

ア

本務校

高瀬小学校

イ

連携校兼訪問校

若宮小学校

有田小学校

三芳小学校

ウ

訪問校

咸宜小学校

桂林小学校

②

希望に基づいた活用計画

4月

体育主任会議における体力・運動能力調査の実施方法、学ぶ意欲を高める指導等の実践発表

1学期

連携校での授業実践(単位ごとに実施)・訪問校での授業支援

2学期

連携校での授業実践(単位ごとに実施)・訪問校での授業支援

3学期

実践事例の交流